

HP DeskScan II v2.3.1a 情報

この文書には通常のマニュアル印刷後に更新された、HP DeskScan II v2.3.1a についての情報が記載されています。

この文書では次のトピックをとりあげてあります。

- * DeskScan の旧バージョンからの更新
- * DeskScan II セットアップが CONFIG.SYS および SYSTEM.INI ファイルに加える変更
- * DESKSCAN.INI ファイル
- * HPDS23.INI ファイル
- * ColorSmart プリンタ ドライバのスキヤニング
- * 透過原稿読み取り用ユニットでスキャンされた画像のスケーリング
- * DeskScan II と OS/2
- * TWAIN ファイルのバージョンの確認
- * SJIIX.SYS デバイス ドライバのために確保されている I/O 空間の管理
- * Norton Desktop を使用している場合の DeskScan II のインストール方法
- * DeskScan II と Windows NT
- * DeskScan II と OS/2
- * DeskScan II と OLE
- * DeskScan II のシステムからの取り除き方法
- * Win32s のシステムからの取り除き方法 (Windows 3.1/3.11 のみ)

DeskScan の旧バージョンからの更新

DeskScan II v2.3.1a のセットアップ プログラムは自動的に DeskScan の旧バージョンからの更新を行ないます。

バージョン 2.3.1a には ASP および CAM 互換の SCSI カード用の HP ScanJet ドライバが含まれています。このドライバの使用は HP ScanJet 4c、3c、IICx、IIC、3p、および Iip のスキャナに限定されます。このドライバはオリジナル ScanJet (HP9190A) および ScanJet Plus スキャナでは正しく機能しません。

既に ASPI あるいは CAM SCSI カードがインストールされている場合、この新しいドライバでインタフェース カードのスロットを 1 つ空け、拡張 ROM メモリ領域を節約することができます。

v2.3.1a に更新すると、既存の DESKSCAN.INI のファイルは DESKSCAN.BAK として保存されます。キャリブレートされたプリント パスで旧バージョンの DeskScan から保存したいものがある場合は、DESKSCAN.BAK のファイルからそれを復活させることができます (古いキャリブレート ファイルの復活についての詳しい情報は後述の「DESKSCAN.INI ファイル」の項を参照してください)

い)。

DeskScan II セットアップが CONFIG.SYS に加える変更

セットアップでこのファイルに変更を加えるかどうか確認のメッセージが表示されます。通常セットアップに変更をさせることにより最適な結果が得られます。

*ScanJet 4c、3c、IIcx、3p および新しい Iip に付属の HP SCSI カード (HP P/N C2502-66500 または C2503-66500) を使用しているシステムにインストールする場合、セットアップは次のデバイス ドライバ記述を追加します。

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\MINI400I.SYS  
DEVICE=C:\DESKSCAN\SJIX.SYS
```

*ASPI あるいは CAM 互換の SCSI カード (既にコンピュータ本体に接続されているもの) を使用しているシステムにインストールする場合、セットアップは次のデバイス ドライバ記述を追加します。

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\SJIX.SYS
```

*ScanJet Iic に同梱されている HP SCSI カード (HP P/N C1753-66500 および C1752-66500) を使用しているシステムにインストールする場合、セットアップは次のデバイス ドライバ記述を追加します。

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\SJII.SYS
```

*ScanJet Plus 用にインストールをする場合、セットアップは次のデバイス ドライバ記述を追加します。

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\SJDRIVER.SYS
```

DeskScan II セットアップが SYSTEM.INI に加える変更

セットアップでこのファイルに変更を加えるかどうか確認のメッセージが表示されます。通常セットアップに変更をさせることにより最適な結果が得られます。

*ScanJet 4c、3c、IIcx、3p および新しい Iip に同梱されている HP SCSI card (C2502/03-66500) を使用するシステムにインストールする場合、[386Enh] のセクションの最後に次の行が追加されます。

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\WIN400I.386  
DEVICE=C:\DESKSCAN\HPSCANR.386
```

*ASPI あるいは CAM 互換の SCSI カード (既にコンピュータ本体に接続されているもの) を使用しているシステムにインストールする場合、セットアップはファイルに変更を加えません。

*ScanJet 4c、3c、IIcx、3p および新しい IIp に同梱されている HP SCSI カード (C2502/03-66500) を使用するシステムにインストールする場合、[386Enh] のセクションに次の行に準じた行が追加されます。

```
EMMExclude=c800-cbff ;HP DeskScan v2.3.1a
```

この記述における実際の数値はカードのスイッチ設定に依存します。スイッチ設定の数値は、システム起動時のスキャナドライバ読み込み時に表示されます (注意: スwitch 設定は短時間しか表示されないため、画面を注意して見ていてください)。

*ScanJet Plus スキャナ用にインストールをする場合、セットアップはファイルに変更を加えません。

注意: セットアップでは新たに行なうインストールに不適切な HP DeskScan の古い変更がないかこのファイルを調べます。例えば、HP ScanJet Plus scanner あるいは旧 HP SCSI カード用にインストールを行なう場合、セットアップは WIN400I.386、および HPSCANR.386 に関する記述を取り除きます。

DESKSCAN.INI ファイル

これは DeskScan II の初期化ファイルです。このファイルには DeskScan のデフォルト設定およびカスタム設定を保存します。カスタム設定はプログラム実行に設定されるものです。

このファイルは DESKSCAN のディレクトリ (DeskScan II をインストールしたディレクトリ) 内にある必要があります。

このファイルは DeskScan 以外のプログラムにより変更されることを想定していませんが、前バージョンの DeskScan でプリンタやアプリケーションに対するカスタム キャリブレーションを作成した場合、これらを新しい DESKSCAN.INI ファイルにコピーすることができます。

この作業を行なうには、テキスト エディタで旧バージョン (DESKSCAN.BAK) と新しいバージョン (DESKSCAN.INI) を ASCII ファイルとして開き、.BAK ファイルの [Calibrations] セクションの行を .INI ファイルの

[Calibrations] セクションにコピーしてください。

DeskScan II の新しいバージョンを既存のバージョンに上書きする形でインストールした場合、全てのキャリブレーション ファイルはそのまま残ります。DeskScan II を新しいディレクトリにインストールした場合、[Calibrations] セクションで参照されるファイルを全て従来のディレクトリから新しいディレクトリにコピーする必要があります。

HPDS23.INI ファイル

このファイルは WINDOWS にあり、HP DeskScan II の TWAIN データ ソースが DeskScan II のメイン プログラム ファイルを見つけるために使用されます。このファイルは DeskScan II をインストールしたディレクトリ名が記録されます。このファイルが破壊された場合、DeskScan II はエラー メッセージを表示します。破壊されたファイルを復活するには、DESKSCAN のディレクトリにあるオリジナル ファイルを WINDOWS ディレクトリにコピーしてください。

DESKSCAN ディレクトリ (DeskScan II をインストールしたディレクトリ) のディレクトリ名を変更する場合、TWAIN から DeskScan II の起動を試みる前に、DeskScan II のプログラム マネージャ グループのアイコンをダブルクリックして DeskScan II を起動してください。これで DeskScan II は HPDS23.INI ファイルのパスを更新することができます。

ColorSmart プリンタ ドライバのスキヤニング

DeskScan II には、ColorSmart プリンタ ドライバを使用してカラー プリンタでプリントする際にカラー品質を上げるための特殊なキャリブレーション ファイルが随時提供されます。[カスタム プリント パス] ダイアログ ボックスのプリンタキャリブレーションのセクションの中からこのキャリブレーション ファイルを選択してください。

プリントアウトの色がオリジナルの色と顕著に異なる場合、使用プリンタに合ったプリンタのカスタム プリント パスを作成して、[プリンタ キャリブレーション] コンボ ボックスから [ColorSmart] を選択してください。

300dpi のプリンタの場合、[描画およびハーフトーン] テキスト ボックスに [300] を、[フォト] テキスト ボックスに [100] の数値を入力してください。

600dpi のプリンタの場合、[描画およびハーフトーン] テキスト ボックスに [600] を、[フォト] テキスト ボックスに [150] の数値を入力してください。ダイアログ ボックスを閉じる前に名前を付けて新しいプリント パスを加えることを忘れないでください。

DeskScan II のフロント パネルの【パス】コンボ ボックスで選択可能なプリンタのカスタム プリント パスの作成の仕方に関する一般的な情報については DeskScan II ユーザーズ ガイドの第 4 章を参照してください。

透過原稿読み取り用ユニットでスキャンされた画像のスケーリング

HP ScanJet 4c、3c、Iicx スキャナは透過原稿読み取り用ユニット (4c/3c/T および Iicx/T) でスキャンされたものをサポートしています。

全ての CCD スキャナには微細な画像の乱れが生じますが、場合によっては画像のスケーリング時にこの乱れが一層顕著になる場合があります。

この場合、解像度を 50、100、150、200、300、400、600、800dpi のいずれかにしてスキャンをします。そして Corel PhotoPaint や Adobe PhotoShop 等の画像編集ソフトウェアで画像のリサンプリングを行ない希望の解像度に変換してください。

これで CCD スキャナに関係する画像の乱れを減少あるいは取り除くことができます。

TWAIN ファイルのバージョンの確認

旧バージョンの DeskScan TWAIN データ ソース ファイルで DeskScan II の起動を試みないようにすることが、DeskScan II を使用する上で重要です。

そのためには TWAIN データ ソース ファイルをシステムから削除するか、安全な場所に移動するのが最良です。

*古いファイルを安全な場所に移動するには、まず WINDOWS のディレクトリに TWAINOLD というディレクトリを作成します。そしてそこに WINDOWS\TWAIN ディレクトリの HPDSxx.DS というファイルをコピーした上で、WINDOWS\TWAIN ディレクトリから HPDSxx.DS ファイルを削除してください。

*旧バージョンを削除するには、WINDOWS\TWAIN ディレクトリ内の HPDSxx.DS というファイルを削除してください。

注意：DeskScan II の旧バージョンがシステム中にある場合には、新しい 32 ビット DeskScan を使用するようデフォルトの TWAIN データ ソースが更新されます。WINDOWS\TWAIN ディレクトリにある旧バージョンの HPDSxx.DS ファイルは HPDSxx.OLD という名前に変更されます。

SJHX.SYS デバイス ドライバのために確保されている I/O スペースの管理 HP ScanJet 4c、3c、Iicx、3p および新しい Iip スキャナは、HP ScanJet Iic および旧型 Iip の SCSI インターフェースよりも新しい SCSI インターフェースを使用し

ます。この新しいカード（HP P/N C2502-66500 [ISA] または C2503-66500 [MCA]）はシステムに他のアダプタ カードが取付けられる際に自動的に再設定を行ないます。4c、3c、licx のカードはデータ転送に次のいずれかの I/O 空間を使用します。

280	330
290	340
300	348
310	350

MINI400I.SYS が使用する I/O 空間を選択したい場合は、CONFIG.SYS のファイルの次の行を変更してください。

変更前：

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\MINI400I.SYS
```

変更後：

```
DEVICE=C:\DESKSCAN\MINI400I.SYS /SETADDR=<I/O 空間>
```

この <I/O 空間> の部分に上記の値が入ります。

システム中で 4c の SCSI カードが他のアダプタ カードと干渉を起こす場合のみこの変更をしてください。

Norton Desktop を使用している場合の DeskScan II のインストール方法

Norton Desktop をシェルとして MS Windows を使用している場合、C:\DESKSCAN というデフォルト ディレクトリを使用して DeskScan II をインストールすることをお勧めします。C:\DESKSCAN にインストールする場合は次の記述を読む必要はありません。

他のディレクトリにインストールしたい場合、DeskScan II のインストール前にシェルを PROGMAN.EXE に変更する必要があります（DESKSCAN II セットアップと Norton Desktop の間には互換性の問題があります）。

次の手順でシェルを変更してください。

- 1.Windows から NOTEPAD.EXE（メモ帳）を実行して SYSTEM.INI ファイル（\WINDOWS ディレクトリにあります）を開きます。
- 2.SYSTEM.INI の [boot] セクションから shell=ndw.exe という行を探してこの行をコピーします。一方の行の行頭に";"（セミコロン）を挿入します。
- 3.もう一方の行を shell=progman.exe に変更します。

4.このファイルを保存してメモ帳を閉じ、Windows を再起動します。

DeskScan II のインストール完了後、次の手順で Norton Desktop に戻ってください。

1.Windows から NOTEPAD.EXE (メモ帳) を実行して SYSTEM.INI ファイル (\\WINDOWS ディレクトリにあります) を開きます。

2.[boot] セクションでセミコロンで始まる shell=ndw.exe という行を探し、このセミコロンを削除します。

3.先程作成した "shell=progman.exe" の行を削除します。

4.このファイルを保存してメモ帳を閉じ Windows を再起動します。

DeskScan II と Windows/NT

DeskScan II v2.3.1a は現在 Windows/NT に対応していません。Windows/NT のシステムで DeskScan II を使用したい場合は、最寄りサポート窓口ご連絡して MS Windows/NT のサポートに関する最新情報を得てください。

また、CompuServe の HP Peripherals フォーラムまたは Internet で最新情報を得ることもできます。

CompuServe のプロンプトから次のように入力してください。

"Go HPPER"

Internet 経由で接続するには次のアドレスを使用してください。

ftp-Boi.external.hp.com (IP アドレス : 192.6.71.2)

接続後 'anonymous' でログインし、御自分の Internet のアドレスをパスワードとして入力してください (例 : 'yahoo@lab.hp.com') 。

DeskScan II と OS/2

DeskScan II v2.3.1a は現在 OS/2 に対応していません。OS/2 のシステムで DeskScan II を使用したい場合は、最寄りサポート窓口ご連絡して MS Windows/NT のサポートに関する最新情報を得てください。

また、CompuServe の HP Peripherals フォーラムまたは Internet で最新情報を得ることもできます。

CompuServe のプロンプトから次のように入力してください。

"Go HPPER"

Internet 経由で接続するには次のアドレスを使用してください。

ftp-Boi.external.hp.com (IP アドレス : 192.6.71.2)

接続後 'anonymous' でログインし、御自分の Internet のアドレスをパスワードとして入力してください (例 : 'yahoo@lab.hp.com')。

DesksScan II と OLE

メモリ使用 : OLE を使用する際には多量のメモリが要求されるため、システムの RAM 容量が十分でないと問題が生じることがあります。この問題は 16 ビットの Windows (Windows 3.11, Windows for Workgroups 等) を使用している場合にのみ発生する可能性があります。メモリ不足の問題を示す兆候としては、アプリケーションが正しく登録されているにもかかわらず選択したサーバが見つからないというメッセージが表示されるということがあげられます (アプリケーション登録を確認してください)。これは実際には、メモリ不足のためサーバおよび関連するシステム DLL が読み込まれず、アプリケーションが不具合の原因が登録の問題にあるとみなすために起こります。

ファイル サイズ : OLE オブジェクトにデータが埋め込まれる場合、スキャンされた画像を持つ追加データが保存されます。追加データは画像とほぼ同じサイズを持ち、極めて大きくなる可能性があります。ファイル サイズが気になる場合は、書類に画像を保存する際に OLE 以外の方法を用いることも考慮してください。TWAIN の使用、クリップボードからの貼り付け、ファイル読み込み等を試してみてください。

Win95 : WordPad の書類に埋め込まれた DeskScan のオブジェクトの更新に問題が生じるかもしれません。この問題は、次のような方法で画像を WordPad の書類に埋め込むことにより回避できます。まず、DeskScan をスタンドアローンとして起動して画像を .BMP ファイルとしてデスクトップに保存します。すると画像を示すアイコンがデスクトップに表示されます。このアイコンを WordPad のウィンドウにドラッグしていき WordPad のドキュメントにドロップしてください。画像をダブルクリックすることにより編集することができます (画像は Desktop に保存する必要はありません。任意のディレクトリから画像アイコンを WordPad のドキュメントにドラッグできます)。

Window NT 3.5 : Client Service for NetWare および Windows NT 3.5 を起動している場合、埋め込まれた DeskScan のオブジェクトがアクティブの状態でコンテナ

アプリケーションを終了すると、いくつかのコンテナ アプリケーションがハングアップしてしまう可能性があるという問題があります。これを避けるには、埋め込まれた画像を含む書類を閉じる前に画像編集ソフトウェアを終了してください。

Windows NT 3.51 : 埋め込まれた DeskScan のオブジェクトをアクティブにしようとするするとライトがハングアップしてしまう可能性があります。

Corel PHOTO-PAINT Select : システムに Corel PhotoPaint Select ソフトウェアをインストールしてある場合、Insert Object ダイアログ ボックスで Corel PhotoPaint Object 選択して Corel PhotoPaint のオブジェクトを OLE の書類に直接埋め込むことができます。これにより Corel PhotoPaint のサーバーが画像をスキャンするかどうかメッセージを表示します。ここで画像をスキャンしたい場合は、DeskScan を使用して Corel PhotoPaint のオブジェクトとしてスキャンされた画像を埋め込むことができます。

DeskScan II のシステムからの取り除き方法

UNINSTAL.EXE を実行してシステムから DeskScan II v2.3.1a を削除することができます。 注意: DeskScan II v2.3.1a がこれをインストールしたディレクトリと同じディレクトリにあることを確認してください。DeskScan を他のディレクトリ、またはドライブに移動した場合には UNINSTAL.EXE がうまく機能しません。DeskScan II v2.3.1a のアプリケーションをシステムから手動で取り除く場合は次の手順に従ってください。

注意 : システムに他の HP ScanJet ソフトウェアがインストールされている場合は、ScanJet ドライバのセクションをとばして DeskScan のセクションに進んでください。

ScanJet ドライバ :

1) CONFIG.SYS および WINDOWS\SYSTEM.INI のファイルのバックアップ コピーを作成します。

2) WINDOWS\SYSTEM ディレクトリにある SYSEDIT.EXE を実行し次の作業を行ないます。

a) SYSTEM.INI ファイルに次の行がある場合はこれらを削除します。

```
DEVICE=...\WIN400I.386  
DEVICE=...\HPSCANR.386
```

注意 : 3つのドット"..."で表されたパスは通常 "C:\DESKSCAN" です。DeskScan II を他のディレクトリにインストールした場合は適切なパス名を入れてください。

b) CONFIG.SYS ファイルに次の行がある場合はこれらを削除します。

DEVICE=...\MINI400I.SYS
DEVICE=...\SJIX.SYS
DEVICE=...\SJII.SYS
DEVICE=...\SJDRIVER.SYS

注意：3つのドット"..."で表されたパスは通常 "C:\DESKSCAN" です。DeskScan II を他のディレクトリにインストールした場合は適切なパス名を入れてください。

c) WINDOWS\SYSTEM のディレクトリに次の行がある場合にはこれらを削除します。

HPSCNMGR.DLL
HPSCNTST.DLL
HPSJ32.DLL
HPSJ16.DLL
HPSJCLAS.DLL (Windows 95 のみ)

d) Windows 95 のみ：WINDOWS\INF のディレクトリから SCANJET.INF を削除します。

DeskScan II：

1. 次のファイルを WINDOWS のディレクトリから削除します。
HPDS23.INI
2. 次のファイルを WINDOWS\TWAIN_32 ディレクトリから削除してください。
HPDS23.DS
3. DeskScan II v2.3.1a がインストールされているディレクトリにあるすべてのファイルを削除してください。
4. DeskScan II v2.3.1a がインストールされているディレクトリを削除してください。
5. WINDOWS のプログラム マネージャから DeskScan II v2.3.1a がインストールされているプログラム マネージャ グループを削除してください。DeskScan II のアイコンは自動的に削除されます。

これで DeskScan II v2.3.1a が完全にシステムから削除されました。

注意：システム中の他のアプリケーションが Win32s を使用している可能性があるため、Win32s は UNINSTAL.EXE の実行では削除されません。Win32s を手動で取り除くには次の手順に従ってください。

Win32s のシステムからの取り除き方法 (Windows 3.1/3.11 のみ)

32-bit のアプリケーションがシステムにインストールされていない場合にのみ Win32s を削除してください。

1) 次のファイルを WINDOWS\SYSTEM ディレクトリから削除してください。

- COMPOBJ.DLL
- OLE2.DLL
- OLE2.REG
- OLE2CONV.DLL
- OLE2DSIP.DLL
- OLE2NLS.DLL
- OLE2PROX.DLL
- STDOLE.TLB
- STORAGE.DLL
- TYPELIB.DLL
- W32SYS.DLL
- WIN32S.INI
- WIN32S16.DLL
- WINMM16.DLL

2) WIN32s のディレクトリを削除してください。

3) WINDOWS のディレクトリの SYSTEM.INI にある次の設定を削除してください。

- drivers = winmm16.dll ([boot] セクションにあります)
- device=C:\WINDOWS\SYSTEM\WIN32S\w32s.386 ([386Enh] セクションにあります)